

**平成28年度**  
**山形大学大学院理工学研究科**  
**博士前期課程**  
**学生募集要項**

**(工学系)**

**【第2回一般入試】**

**【物質化学工学専攻】**  
**【情報科学専攻】**  
**【電気電子工学専攻】**

**平成27年10月**  
**山形大学大学院理工学研究科**

**博士課程教育リーディングプログラム**  
**「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」**  
**(5年一貫大学院コース) 履修学生募集!!**

山形大学大学院理工学研究科(工学系)では、独立行政法人日本学術振興会が公募する「博士課程教育リーディングプログラム」に「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」として応募し、採択されました。このプログラムは、5年一貫大学院コース(定員12名)を特徴としており、平成28年度本研究科(工学系)博士前期課程入学試験に合格した者で本プログラムでの履修を希望する方を対象に、入学試験と別に選抜試験を実施します。本プログラムの概要については、11ページに「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院概要」を掲載しています。なお、詳しくはホームページ <http://ifront.yz.yamagata-u.ac.jp>を参照してください。

## ★外部テスト(TOEIC又はTOEFL)の利用について

山形大学大学院理工学研究科博士前期課程(工学系)第2回入試の一般入試では、外部テスト(TOEIC又はTOEFL)の成績を利用します。

出願時に、外部テスト(TOEIC又はTOEFL)の成績書等を提出いただきますので、御準備をされるよう、お願いいたします。

○対象となる成績書等

①TOEIC

ア TOEIC(公開テスト)

イ TOEIC-IP(Institutional Program)

以上の2種類です。

志願する者のうち、上記ア、イのどちらかの成績証明書(あるいはスコアレポート、いずれもコピーは不可)を提出する者は、入学願書と一緒に提出してください。(平成25年4月1日以降に受験した成績証明書が有効です。また、複数回受験している場合、一番高得点の成績証明書を提出してください。)

②TOEFL

ア TOEFL iBT(Internet-based Test(インターネット版TOEFLテスト))

イ TOEFL ITP(Institutional Test Program(団体向けテスト))

ウ TOEFL PBT(Paper-based Test(ペーパー版TOEFLテスト)現在日本では実施していない)

以上の3種類です。

志願する者のうち、上記ア、イ、ウのExaminee Score Report(受験者用控えスコア票で、受験後に米国ETSより受験者宛に1通のみ送付され、原則として再発行はありません。)を提出する者は、入学願書と一緒に提出してください。(コピー不可。)また、上記ア、イ、ウのOfficial Score Report(公式スコア票で、受験者の希望により、米国ETSから直接志望団体に送付されるもので、受験者には送付されません。)を提出する者は、出願締切日まで山形大学工学部入試担当まで届くよう手続を行ってください。(届かない場合、出願を受理しません。)(平成25年4月1日以降に受験したスコア票が有効です。また、複数回受験している場合、一番高得点のスコア票を提出してください。)

## 目 次

1	山形大学大学院理工学研究科（工学系）のアドミッション・ポリシー	1
2	募集人員	2
3	日程	2
4	出願資格	2
5	入学資格審査について	3
6	出願期間	3
7	出願手続	3
8	入学者選抜方法	6
9	試験場	7
10	受験者心得	7
11	受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	8
12	合格者の発表	8
13	入学手続	8
14	授業料	9
15	その他	9
16	学生募集要項の請求について	9
17	教育方法の特例措置について	10
18	長期履修学生制度について	10
19	理工学研究科（工学系）の概要	10
20	博士課程教育リーディングプログラム 「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」概要	11

★お問い合わせ先 山形大学工学部入試担当  
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16  
電話 (0238) 26-3013

# 1 山形大学大学院理工学研究科（工学系）のアドミッション・ポリシー

## ■概要・特色

山形大学大学院理工学研究科（工学系）は、博士前期課程（Master's Program）と博士後期課程（Doctor's Program）で構成されており、前期課程は、入学定員270人を数え、機能高分子工学専攻、有機デバイス工学専攻、物質化学工学専攻、バイオ化学工学専攻、応用生命システム工学専攻、情報科学専攻、電気電子工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の併せて9専攻を設置しています。

また、後期課程は、入学定員26人で、有機材料工学専攻、バイオ工学専攻、電子情報工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の5専攻からなっています。

本研究科（工学系）前期課程では、「21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して『自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院』を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化・国際化に対応できる教育研究機関」として実践している学部の教育を、更に広い視野に立ち、精深な学識を養い、専攻する分野における研究能力と高度な専門性に支えられた卓越した能力を備えた人材を育成するための修士教育を目標に掲げ、多くの優れた修了生を輩出しています。

後期課程においては、グローバル化の進む中、専攻分野における研究者として自立し、世界に通用する高度に専門的な研究・教育に従事するために必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を養って社会に貢献する人材を育成し、豊かな生活を築き、栄えある未来の創造に寄与しています。

## ■理念・目標

「専攻分野における学生の探求心に応え、能力を啓発し、自立した人材を育成する」

「専攻分野の基礎知識を礎にした高度専門技術者・研究者・教育者の養成」

「自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院」

## ■求める学生像

### 博士前期課程

以下の人材を求めています。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲のある人
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、行動できる人
- 他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人
- 専門分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人

### 博士後期課程

上記に加え、以下の人材を求めています。

- 専門分野以外に対しても深い関心をもち、広い応用力を有する人
- グローバルな視野に立ち、世界で活躍する研究者・技術者を目指す人

## 2 募集人員

専攻名	募集人員
物質化学工学専攻	8
情報科学専攻	7
電気電子工学専攻	7

(注) ものづくり技術経営学専攻は本要項とは別に募集要項を作成し、学生を募集しております。

## 3 日程

項目等	月日
入学資格審査書類提出期間	平成27年10月19日(月)～10月23日(金)(必着)
入学資格審査結果の通知期日	平成27年10月27日(火)
出願期間	平成27年11月2日(月)～11月6日(金)(必着)
試験日	平成27年11月26日(木)
合格者発表	平成27年12月3日(木)11時(予定)

## 4 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者又は平成28年3月までに該当する見込みの者とします。

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条第1項に定める大学(以下「大学」という。)を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

## 5 入学資格審査について

出願資格の⑧により志願しようとする者については、次のとおり事前に書類による個別の入学資格審査を行いますので、「入学資格審査願」、「卒業証明書（最終卒業学校分）」、「成績証明書（最終卒業学校長が作成し、厳封したもの）」及び「入学試験出願資格認定審査調書」を下記の期限を厳守の上、山形大学工学部入試担当へ提出してください。

なお、研究業績等がある者は、論文別刷等を添付してください。

### 【注意事項】出願資格の⑧について

高等専門学校、短期大学、専修学校、各種学校、外国大学日本分校（出願資格の⑤を除く。）、外国人学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者が入学を志願しようとする場合、本研究科において事前に個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者については、本研究科に出願することができます。

なお、同資格審査は、過去に本研究科が交付した「入学試験に係る入学資格の認定通知書」をもって代えることができます。

入学資格審査で受験される方は、当該通知書の写しを出願書類に添付してください。

入学資格審査書類提出期間	審査結果の通知期日
平成27年10月19日（月）～10月23日（金）	平成27年10月27日（火）

## 6 出願期間

出 願 期 間
平成27年11月2日（月）～11月6日（金）

出願受付は、祝日を除きます。

受付時間は9時から16時30分までとします。

なお、郵送の場合も出願期間の最終日まで**必着**とします。

## 7 出願手続

入学志願者は、出願書類を一括し、所定の期日までに山形大学工学部入試担当に提出してください。

なお、郵送する場合は書留郵便とし、封筒に「大学院理工学研究科博士前期課程（工学系・第2回入試）入学願書在中」と朱書してください。

出願書類提出先 山形大学工学部入試担当  
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

【出願書類】

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入 学 願 書 写 真 票 受 験 票	本要項に添付の所定の用紙に、必要事項を記入してください。 写真票の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真(4 cm×3 cm)をはってください。
卒業証明書又は 卒業見込証明書	出身大学長(学部長)又は出身学校長が作成した <b>原本</b> とします。外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 (注) <b>外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語以外の場合には、和訳又は英訳を添付してください。</b>
成 績 証 明 書	出身大学長(学部長)又は出身学校長が作成し、厳封された <b>原本</b> とします。外国の大学又は学校の出身者で、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けてください。 (注) <b>外国の学校又は外国の機関において作成する書類が日本語以外の場合には、和訳又は英訳を添付してください。</b>
外 部 テ ス ト の 成 績 書 等	次の1)～3)のうち、いずれかを提出してください。(コピー不可。) 1) T O E I C の成績証明書(あるいはスコアレポート) 2) T O E F L のExaminee Score Report 3) T O E F L のOfficial Score Report 詳しくは、表紙の裏の「外部テスト(TOEIC又はTOEFL)の利用について」をご確認ください。
学士の学位授与 (申請)証明書	出願資格②の資格で出願する者が提出してください。大学評価・学位授与機構が発行する学位授与証明書又は「大学評価・学位授与機構に学位授与の申請(予定)をしている」旨を明記した証明書(様式任意)で、出身大学長(学部長)又は出身学校長が作成したものとします。
山形大学入学試験 検定料納付証明書	検 定 料 30,000円 1 払込期間：平成27年10月26日(月)～11月6日(金) 2 払込方法 (1) 本要項に添付の所定の「払込書【大学院理工学研究科博士前期課程(工学系・4月入学)用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。 なお、ATM(現金自動預払機)は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。 (2) 各票の※印欄に、志願者(本人)の郵便番号・住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。 (3) 「払込取扱票」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」に志願する専攻名を記入してください。 (4) 「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。 3 ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。 4 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

出願書類	出願書類作成上の注意
	<p>(1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。）</p> <p>(2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合  ※返還についての問い合わせは、山形大学工学部入試担当にお願いします。  なお、申出期間は平成28年3月31日（木）までとします。</p>
ラベル票	本要項に添付の「ラベル票」に、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、提出してください。
返信用封筒	市販の封筒（長形3号・23.5cm×12cm）に本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、362円分の切手（速達）をはって提出してください。
その他	<p>外国人で、住民登録をしている者については、住民票の写しを提出してください。</p> <p>住民登録をしていない者は、パスポートの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のうちいずれか1つを提出してください。</p>

注) 出願資格の⑧により入学資格審査を受けた場合、卒業証明書及び成績証明書の提出は必要ありません。



## 8 入学者選抜方法

- 1) 入学者の選抜は、各専攻の指定する学力検査等並びに出身大学等の成績証明書の審査結果を総合して行います。
- 2) 学力検査等及び試験日時

### 【物質化学工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（*1）
平成27年11月26日（木）	10：00～12：30	基礎科目（*2）	数学 物理化学
		専門科目（*2）	有機化学 無機・分析化学 化学工学 （3科目から1科目選択）
	13：30～	面接及び口頭試問（*3）	

（注）試験場で電卓を貸与します。各自が持ち込んだ電卓の使用は禁じます。

- \*1 外部テストについて  
詳しくは、表紙の裏の「外部テスト（TOEIC又はTOEFL）の利用について」をご確認ください。
- \*2 基礎科目及び専門科目の出題範囲は次のとおりです。

科目名	出題範囲
数学	微分積分（1変数，多変数），常微分方程式
物理化学	化学熱力学の基礎（エンタルピー，エントロピー，自由エネルギー，化学平衡，相平衡），気体と固体ならびに液体の性質と構造及び状態変化
有機化学	結合と異性，立体化学，アルカン，シクロアルカン，アルケン，アルキン，有機ハロゲン化合物，芳香族化合物，アルコール，フェノール，エーテル，アルデヒド，ケトン，カルボン酸誘導体，アミン，複素環化合物
無機・分析化学	原子の構造と電子配置，元素の周期性，化学結合，酸と塩基，典型元素の単体と化合物，遷移金属錯体（構造，異性体，高スピンと低スピン，色，磁性，反応，有機金属錯体），定量分析の基礎（溶液の調製，酸塩基反応，錯体形成反応，沈殿反応，酸化還元反応）
化学工学	流れ系の物質収支，流れの基礎，ベルヌーイの式の応用，一次元定常熱移動，熱伝達の基礎，拡散による物質移動，Fickの法則の応用，反応速度式の導出と応用，回分反応器と流通反応器の設計

- \*3 面接及び口頭試問は，1人5分程度行います。

### 【情報科学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（*1）
平成27年11月26日（木）	13：30～	面接及び口頭試問	学力（数学，専門），卒業研究の内容及び進学後の希望研究テーマ等に関して1人約30分の面接及び口頭試問を行います。（*2）

- \*1 外部テストについて  
詳しくは、表紙の裏の「外部テスト（TOEIC又はTOEFL）の利用について」をご確認ください。
- \*2 卒業研究の内容説明（約5分）にはプロジェクターが使用可能です。  
プロジェクター使用の場合、PCは各自持込みとなります。

### 【電気電子工学専攻】

試験日	試験時間	試験科目	
事前に受験してください。		外国語	英語（外部テスト）（*1）
平成27年11月26日（木）	10：00～10：30	基礎科目	数学（微分積分，微分方程式，行列，複素関数，フーリエ変換，ラプラス変換，ベクトル解析）
	10：35～11：05	専門科目1	電磁気学
	11：10～11：40	専門科目2	電子物性と量子物理
	11：45～12：15	専門科目3	電気回路と電子回路
	13：30～	面接（*2）	

- （注1）基礎科目・専門3科目の間の時間は休憩時間ではありませんので、試験室からは退室できません。
- （注2）試験会場で電卓を貸与します。各自が持ち込んだ電卓の使用は禁じます。

- \*1 外部テストについて  
詳しくは、表紙の裏の「外部テスト（TOEIC又はTOEFL）の利用について」をご確認ください。
- \*2 面接は1人10分程度行います。

## 9 試験場

山形大学工学部試験場 米沢市城南四丁目3-16

## 10 受験者心得

- 1 受験票について
  - （1）試験当日は、**受験票を必ず持参**し、試験場に入場する際に提示してください。
  - （2）試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。
  - （3）試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
  - （4）受験票を紛失した場合は、速やかに山形大学工学部入試担当に申し出てください。
  - （5）受験票は、入学手続の際に必要となりますので、合否が確定するまで大切に保管してください。
- 2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合もあります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに米沢市に到着するなど、各自の責任において必要な対応を取ってください。

- 3 受験者は、試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 4 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 5 **試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。**
- 6 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 7 筆記試験等における留意点について
  - (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
  - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
  - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
  - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 8 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。
- 9 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 10 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 11 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 12 受験者以外は、試験場建物内に立ち入ることができません。
- 13 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしません。
- 14 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学とは何ら関係なく、個人情報が悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

## 11 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願するもので、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する者は、入学願書の出願受付開始前に山形大学工学部入試担当（電話(0238)26-3013）に相談してください。

なお、相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早めに相談してください。

## 12 合格者の発表

**発表日時** 平成27年12月3日（木）11時（予定）

合格者の発表は受験番号のみとし、山形大学工学部掲示板に掲示します。

また、山形大学工学部／大学院理工学研究科ホームページ（<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。（発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいて再度アクセスしてください。）

なお、合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

## 13 入学手続

入学手続は次のとおりです。

### (1) 入学手続期間

**入学手続期間** 平成27年12月14日（月）～12月18日（金）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(2) 入学料

入学手続の際に、入学料を納付していただきます。

○入学料 282,000円

(3) 提出書類

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(4) 留意事項

入学手続完了者が、平成28年3月31日（木）までに入学を辞退した場合であっても、入学料は返還しません。

## 14 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料 年額535,800円（予定額）

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、入学手続案内を送付の際にお知らせします。

## 15 その他

提出いただいた入学試験に関する個人情報は次の目的のために利用し、当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。

(1) 入学者選抜試験実施のため

(2) 入学手続業務のため

(3) 入学統計調査のため

(4) 就学上必要な本学での業務のため

(5) その他大学として必要な業務のため

提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

## 16 学生募集要項の請求について

### 1 直接来学する場合

山形大学工学部入試担当の窓口で配布します。（土・日曜日、祝日を除きます。）

### 2 郵便による請求方法

<請求先>

山形大学工学部入試担当

〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16

(1) 山形大学工学部入試担当あての封筒の表に、「大学院理工学研究科博士前期課程学生募集要項（工学系・第2回入試）請求」と朱書してください。

(2) 封筒の裏には、請求する方の郵便番号・住所・氏名を必ず記入してください。

(3) 返信用封筒（角形2号・33cm×24cm）を同封してください。封筒の表には請求する方の郵便番号・住所・氏名を必ず記入してください。

(4) 郵送料は140円（速達で返信を希望する場合は420円）です。返信用の封筒に郵送料分の切手をはってください。

## 17 教育方法の特例措置について

近年の科学技術の進歩に伴い、大学院における社会人研究者、教育者及び技術者の再教育への要請が高まっています。しかし、社会人の多くは、修学期間あるいは地理的制約から通常の教育方法では再教育の機会を十分に利用できないのが実情です。

このため、大学院設置基準第14条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定され、社会人研究者、教育者及び技術者の修学に特別措置を行うことができるよう配慮がなされています。

本研究科でも、社会人受入れに当たり、教育上特に必要と認められる場合には、教育方法の特例措置を実施しております。

教育方法の特例措置（工学系）は次のとおりです。

- 1 通常の時間帯（8:50～15:55）以外に、特例措置の時間帯（16:00～21:10）に履修できるものです。
- 2 土曜・日曜日も履修できるものです。
- 3 必要に応じて夏季・冬季休業期間中も履修できるものです。
- 4 特例の時間帯による履修を希望する者は、当該年度当初に、指導教員の承認を得た上、適用授業科目名、時限、時期等を出願し、授業担当教員の許可を得るものとします。

## 18 長期履修学生制度について

職業を有している等の事情によっては、本研究科の標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程修了することができる制度です。この制度の利用や授業料の納入方法等の詳細については、山形大学工学部学務課教育支援担当（電話（0238）26-3015）に照会してください。

## 19 理工学研究科（工学系）の概要

### 1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取り扱います。

理工学研究科 博士前期課程 (工学系)	機能高分子工学専攻
	有機デバイス工学専攻
	物質化学工学専攻
	バイオ化学工学専攻
	応用生命システム工学専攻
	情報科学専攻
	電気電子工学専攻
	機械システム工学専攻
ものづくり技術経営学専攻	

理工学研究科 博士後期課程 (工学系)	有機材料工学専攻
	バイオ工学専攻
	電子情報工学専攻
	機械システム工学専攻
	ものづくり技術経営学専攻

## 2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部／大学院理工学研究科ホームページ (<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>) 内の以下のページをご覧ください。

- 「博士前期課程（工学系）担当教員一覧」  
<http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/admission/admissiondaigakuintop.html>
- 平成27年度開講科目のシラバス  
<http://campus3.kj.yamagata-u.ac.jp/syllabus/2015km/top.html>

## 20 博士課程教育リーディングプログラム「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」概要

博士課程教育リーディングプログラム「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」は博士課程5年一貫のコースです。専攻に関係なく本コースに参加することができます。

本コースの特徴は、産学官にわたり活躍する2つの能力を備えた、「フロンティア有機材料システム」などの新しい分野を創成する価値創成グローバルリーダーを育成することです。2つの能力とは、

- 1 「フロンティア有機材料システム分野」創成に挑戦する創造性
- 2 「グローバルリーダー」としての主体性

のことで

本コースを希望するものには、入学試験とは別に選抜試験を実施します。

詳しくは、ホームページ<http://ifront.yz.yamagata-u.ac.jp>をご覧ください。